

第27回 ミュージアムコンサート @NMAO (Vol.27)

「 ヴィヴァルディ 四季 」

～ 2人の若手ヴァイオリニストを迎えて ～

出演者：登坂理利子 (ヴァイオリン 春・夏)

福田廉之介 (ヴァイオリン 秋・冬)

アンサンブル神戸

辻井 淳	(ヴァイオリン)	安積宜輝	(ヴィオラ)
釋 伸司	(ヴァイオリン)	崎元蘭奈	(チェロ)
川端直子	(ヴァイオリン)	石川 徹	(コントラバス)
大橋ひさ	(ヴァイオリン)	吉竹百合子	(チェンバロ)

＜＜ プログラム ＞＞

ヴィヴァルディ 「 四季 」

春 La Primavera op.8 No.1 RV.269

第1楽章 Allegro

第2楽章 Largo e pianissimo

第3楽章 Allegro

夏 L'Estate op.8 No.2 RV.315

第1楽章 Allegro ma non molto

第2楽章 Adagio

第3楽章 Presto

秋 L'Autunno op.8 No.3 RV.293

第1楽章 Allegro

第2楽章 Adagio

第3楽章 Allegro

冬 L'Inverno op.8 No.4 RV.297

第1楽章 Allegro non molto

第2楽章 Largo

第3楽章 Allegro

～ Profile ～

登坂理利子 (のぼりさか りりこ)

大阪府出身

2005年からこれまでに、アンドレア・ボスタッキーニ国際コンクール最高位、ヤッシャ・ハイフェッツ国際コンクールにて特別賞、大阪国際音楽コンクール 第1位、イルピッコロマジコ国際コンクール、ジネット・ヌヴェー国際コンクール等 国内外のコンクールに入賞する。ドイツ・クロンベルクアカデミーにてプリンツ・フォン・ヘッセン賞受賞。



又、ソリストとしてローザンヌ室内管、パドヴァ管、ソフィア・ソロイスト室内管、ルセ・フィルハーモニー管、大阪フィル、京響、日本センチュリー響、関西フィル、アンサンブル神戸等 国内外のオーケストラと共演。宮崎国際音楽祭、中之島国際音楽祭などに出演し、イタリアや日本にてソロリサイタル。NHK-FM リサイタル・ノヴァ出演。

2020/2021 の間、ルノー・カプソン氏の推薦により彼主宰のアンサンブル ”Lausanne Soloists” のメンバーとして活動し、ドイツ、フランス、スイス各地の音楽祭に出演。

相愛高校音楽科を特待生として卒業後、渡欧。ウィーン私立音楽芸術大学にてパヴェル・ヴェルニコフ、ローザンヌ高等音楽院ソリスト修士課程にてルノー・カプソン各氏に師事し、修了。2022 年秋に 8 年間の欧州生活を終え、完全帰国。

これまで曽我部千恵子、故工藤千博、小栗まち絵、堀正文各氏に師事。

現在は、東京・関西を拠点に活動。東京藝術大学大学院音楽研究科にて玉井菜採、白井圭各氏に師事。

福田廉之介(ふくだ れんのすけ)

岡山県出身

2013 年クロスター・シェンタール国際バイオリンコンクールジュニア部門優勝。併せて全部門出場者中の最高得点奏者に贈られる Forderpreis 賞を受賞。2014 年ユーディ・メニューイン国際コンクールジュニア部門優勝。2017 年ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール 3 位。ヴァルセシア・ムジカ国際ヴァイオリンコンクール優勝。2018 年ハノーファー国際コンクール 4 位。2023 年ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクール第 3 位。7 歳より読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、モスクワフィルハーモニー管弦楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、ルーマニア国立放送管弦楽団、北チェコフィルハーモニー管弦楽団など多数のオーケストラと共演。また国内外の主要オーケストラにゲストコンサートマスターとして度々招かれる。

2010 年、2013 年、2022 年度岡山県芸術文化賞準グランプリ、2014 年、赤磐市長特別奨励賞を授与される。2017 年、イヴリー・ギトリス氏より世界で活躍する若手ヴァイオリニストに贈られる Ivry Gitlis Prize を受賞。同年、スイスの Rahn Kulturfonds から奨学金を授与される。2019 年、2020 年度、スイス Migros 奨学生。2021 年、マルセン文化賞、山陽新聞奨励賞、福武教育文化賞受賞。2021 年 4 月「あかいわ広報大使」就任。

シオンの音楽学校をわずか 1 年で首席卒業し、2016 年よりローザンヌ高等音楽院に飛び級入学。これまでに、河野園子、工藤千博、小栗まち絵、漆原啓子、パヴェル・ヴェルニコフ、スヴェトラナ・マカロバ、ジャンヌ・ヤンセンの各氏に師事。

アンサンブル神戸

阪神大震災直後の仮設住宅や老人ホームなどへの慰問演奏をきっかけに、関西の若手音楽家を中心に発足した室内オーケストラ。

1996 年 9 月にオープンした神戸新聞松方ホールを本拠地として、年間約 10 回の自主公演を行い、そのほか様々な依頼公演にも応えている。また、

2000 年には姉妹団体「神戸 21 世紀混声合唱団」を発足させ、宗教音楽

にも積極的に取り組んでいる。2013 年 5 月に一般社団法人として法人化し、2015 年 12 月には内閣府より公益社団法人の認可を取得。関西を代表するオーケストラとして地域文化の振興、発展に貢献するために活動を続けている。

